

社会保険倶楽部

長崎支部



大阪・関西万博のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」でした。当支部のテーマは「人が輝くクラブ長崎」です。会員一人ひとりが唯一無二の存在なのです。
輝きましょう！

みなさんの漢字は何ですか。

能

令和七年の漢字は

報 告
第 6 号

デスクから
皆さんあけましておめでとうございませう。
わが国では憲政史上初、女性の内閣総理大臣が誕生しました。当支部も数年ぶりに支部長、副支部長の交代がありました。白岩さん、詰坂さん、長い間ありがとうございました。今後は新執行部の元、これまで以上に会員同士の交流が盛んになることを期待します。



令和7年度 社会保険倶楽部長崎支部総会 R7.8.8 於 セントヒル長崎

年頭のご挨拶 長崎支部長 高比良秀信
新年あけましておめでとうございます。

社会保険倶楽部長崎支部の皆様には、日頃より温かいご支援とお力添えを賜り、心より御礼申し上げます。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年は、私たちの暮らしを取り巻く環境が大きく揺れた一年でした。物価の上昇は日常生活の細かな場面にまで影響し、食品や電気代など、身近な支出で変化を実感された方も多かったことと思います。また、年金制度の将来に向けた議論が続く、どの世代にとっても「安心して歳を重ねる社会」の重要性を改めて考えさせられました。長く安心して暮らせる環境づくりは身近な関心事でありさらに必要性を感じるところであります。一方で、自然環境の変化も目立った一年でした。全国でクマの出没が増え、人里での被害が報じられました。気候の変動や餌不足などが背景にあるとされますが、自然と共に生きる日本の地域社会が、改めてその向き合い方を考える時期にきているように思われます。余談ですが、昨年末、関門海峡を眺める機会がありました。この海峡をツキノワグマが本州から泳いで渡って来ることがあるのかと考えましたが、その流れの速さを見て答えはノーかと考えました。

このように社会が大きく揺れ動く中だからこそ、倶楽部が持つ「安心感」と「温かさ」をより一層感じています。本年も同じ社会保険の中で育ち育まれてきた「連帯感」を通じて、会報や交流の場を通じて、お互いの近況を確かめ合える機会を大切にしたいと思っております。

最後に、皆様の一年が健康と穏やかさに満ちたものとなりますよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



「貴方の趣味は何ですか」と問われたり書かされた経験を多くの人は持っているが、筆者も例外でなく、遠い若い日そんなことがあったような想いがあるのだが忘却の彼方特別なものがあれば良いのだが、無趣味な者は非常に困る。「読書」「音楽」とか答えても、聞く人は「なあーんや」の顔つきをするだけ。

仕事を引退後は終日ひま。本を読む以外何もない。自室の書棚は満杯。廊下にあふれ、他室に移動。古い本の処分を家人は期待するも蔵書に対する愛着は強い。本と言っても殆どエンタテインメントの娯楽書。今野敏、堂場瞬一のサスペンスものが多い。ホンシャ(警視庁)シシャ(県警本部)シテン(所轄署)ジカタ(地方採用の職員)の用語は旧内務省関係の職場に多く使われもした。

新書、選書(レベルが高い)も多少は並んでいるものの学術書など皆無。池波正太郎の「鬼平」「剣客商売」文庫が懐かし、先日それらを全部読み返し感動する。本は値段も安く、チャンポン一杯で文庫本が一冊。

昭和二十年代当初、当市にも労音支部が出来、その支部代表を求められ、第一回がN響コンマス梅野義之が創ったアカデミー弦楽四重奏団。当時ホコリッポイ市公会堂でのスタートが懐かしく想い出される。後日この人は事件を起こし三面記事を賑わせることになる。「ヤセたソクラテスが肥えた豚になる」の表現そのものに哀しい想いをしたものです。労組と区別が出来ない職場幹部の圧力もあってその後残念ながら解散。一人で楽しむ外はなかった。テレビの無い戦後二十年、三十年、流行歌(今は歌謡曲と呼ぶ)中高校生が「こんな女に誰がした」など歌っていた時代で、今日でもスナックなどで字幕があれば歌えるものも多い。

野球の長嶋と同じ頃石原裕次郎が現れ、軍団の仲間から「社長」「ボス」と利用されなければ今日も静かに懐メロを歌っているのだが。カバーで歌った「白い花の咲く頃」小椋佳の「めまい」などモーツァルトが死の直前に書いた名曲クラリネット協奏曲と共に自身の告別式のバック

に流してもらおうと思ったりしています。福岡のアクロス福岡にも想い出が多い。バレンボイムのブルックナーなどのコンサート。これらは聴力が健在だった頃のこと。

映画ばかり観ていた思い出があり、最近のいわゆる芸術的な映画を観る気がしない。映画は窒息しそう。小津の「紀子シリーズ」山田洋次の車寅次郎は日本人の特性を映画で表現。「とらさん」の義侠心は、昭和のはじめ、白人の圧力で困惑しているアジア諸国を助けに行ったことが植民地政策となつて身を滅ぼした日本人を象徴している。山田洋次の美しい映画や時代があった。最近でも、カズオ・イシグロ(長崎生まれのイギリス人)の「日の名残り」アメリカ映画の「ゴースト」など名画もあるようだが、ラストシーンが今も心に残る。ゴーストのラストシーンのバックに流れる名曲の想い出。聴力が健全な頃のこと。

昭和生まれの筆者も間もなく九十三歳。千鳥歩きのヨタヘロ。人生百年時代とはいえ生涯の幕が下りるのも近々「死は無である」宗教でさえも生きる人間の偽善であるとも書いた石原慎太郎。死を意識することは生を大事にすることも書いてある。

これを大切にしたいと思う今日この頃。



軍艦島デジタルミュージアムについて

皆さんは軍艦島デジタルミュージアムへ行かれたことがありますか。四海楼の横にある四階建てのビルです。

二階から四階までがミュージアムになっていて、軍艦島について色々なことが学べます。特にお勧めが三階のバーチャルリアリティコーナーです。特殊なメガネをかけたら軍艦島の中を鳥のように飛ぶことができます。四階には五面がスクリーンになっている小部屋があり、上下左右から素晴らしい景色が迫ってきます。

- その他の見どころ
- 2階
 - ・探炭現場への道(プロジェクションマッピング)等
 - 3階
 - ・軍艦島30号棟の模型
 - ・プロジェクションマッピング等
 - 4階
 - ・端島神社・地獄再現セット等



軍艦島ミュージアムの前で
(高比良新支部長と榎山事務局長)

おめでとうございます

この度、当支部会員の松尾孝さんが日本年金機構理事表彰を受賞され、表彰伝達式が令和七年十一月十九日に関係者を招き農協会館で盛大に執り行われました。

松尾さんは長崎北地区の代表年金委員(地域型)として日頃から活動されており、地域での社会保険制度の普及発展に寄与されたことが受賞の理由です。

伝達式では、かつて自分が育てた後輩である本多敦氏(日本年金機構九州地域部長)から賞状を授与されました。感慨深いものがあつたと思われます。

(注) 日本年金機構では、多年にわたり政府管掌年金事業の推進・発展にご協力いただいている年金委員の方々の活動において、功績等を残された場合に感謝の意を表し、年金事業の一層の推進に寄与することを目的として、毎年「年金委員表彰」を実施しています。年金委員功労者厚生労働大臣表彰、日本年金機構理事長表彰、日本年金機構事業推進担当部門理事表彰の三種類があります。

